

みずほCustomer Desk Report 2020/09/25号(As of 2020/09/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	105.43
TKY 9:00AM	105.31	1.1659	122.83	1.2717	0.7066		
SYD-NY High	105.53	1.1687	123.15	1.2780	0.7081		
SYD-NY Low	105.22	1.1627	122.59	1.2692	0.7016		
NY 5:00 PM	105.42	1.1667	123.04	1.2745	0.7046		
NY DOW	26,815.44	52.31	日本2年債	-0.150	1.00bp		
NASDAQ	10,672.27	39.28	日本10年債	0.010	0.65bp		
S&P	3,246.59	9.67	米国2年債	0.136	▲0.39bp		
日経平均	23,087.82	▲ 258.67	米国5年債	0.276	0.13bp		
TOPIX	1,626.44	▲ 17.81	米国10年債	0.666	▲0.98bp		
シカゴ日経先物	23,075.00	▲ 50.00	独10年債	-0.5085	▲0.55bp		
ロンドンFT	5,822.78	▲ 76.48	英10年債	0.2210	0.45bp		
DAX	12,606.57	▲ 36.40	豪10年債	0.8650	0.60bp		
ハンセン指数	23,311.07	▲ 431.44	USDJPY 1M Vol	6.30	0.00%		
上海総合	3,223.18	▲ 56.53	USDJPY 3M Vol	8.68	0.03%		
NY金	1,876.90	8.50	USDJPY 6M Vol	8.18	0.08%		
WTI	40.31	0.38	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over		
CRB指数	148.359	0.62	EURJPY 3M Vol	8.71	0.01%		
ドルインデックス	94.35	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	8.48	0.04%		

東京	東京市場のドル円は105.31レベルでオープン。前日からの米株の軟調な推移を横目に、リスクオフの展開が継続。有事のドル買地合いがドル円をサポートし、105.47付近まで上昇。105円半ば付近では次第に上値重く推移し、結局105.33レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.33レベルでオープン。欧州株安による円高とドル需要が交錯した。立ち上がり105.22まで売られるも切り返すと一時105.53まで買われ105.43レベルでNYに渡った。ボトトドルは、1.2698レベルでオープン。本日スナック英財相が休職手当廃止後の雇用対策を発表することもあってかボトドルは期待感から1.2780まで買われる。星ごとに発表された同策は寛大なものであったが利食いに押され1.2744レベルでNYに渡った。(ロンドントルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場で欧州株式市場が軟化する動きを受け円買いが強まり、ドル円は105.22まで下落したが、その後はドル買いに105.53まで戻し、105.43レベルでNYオープン。朝方は円買いが先行し、105.32まで下落する。米新規失業保険申請件数は予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。米大手金融機関が10~12月期のGDP予想を、景気対策が来年まで実施されないと見方から従来の6%から3%に下方修正し、株式市場も前日比横ばい付近を上下する中、ドル円は狭いレンジでの推移が続く。10時に発表された米8月新築住宅販売件数は予想を大きく上回り、コロナ危機前のピーク時の30%も上回る結果となり、105.52まで戻す。その後ムニーチン財務長官と、ヘッド下院議長が景気対策についての協議を再開する意向との報道が伝わるが、ドル売りが強まる一方円売りが強まり、ドル円の値動きを挟まれる。午後は狭いレンジでの推移が続く中、米紙が民主党は追加財政の金額をこれまでの3.5兆ドルから約2.4兆ドルに減額して協議する意向との報道が伝わるもの、為替市場の反応は限定的となり、105.42レベルでクローズした。一方、独9月IFO景況感指数は前回から改善したものの、ユーロ買いの材料にはならず、ECBが発表し9月のTLTRO3での域内市中銀行への資金供給が、1745億ユーロで市場予想の上の方向であったことや、軟調な欧州株の動きを受けたドル買いに1.1633まで下落し、1.1639レベルでNYオープン。朝方はユーロ円が下落する動きにユーロも1.1627まで下落する。その後は米株式市場が徐々に上昇する動きを受け、ユーロドルはじりじりと値を戻し、午後に入りダウが本日の高値を付けると1.1687まで戻す。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1667レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

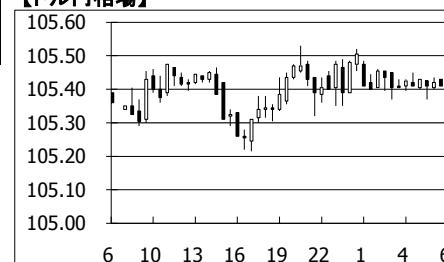
Date	Time	Event	結果	予想
9月24日	17:00	独 IFO企業景況感指数	9月	93.4 93.8
	21:30	米 新規失業保険申請件数	19-Sep	870k 840k

市場営業部 為替営業第二チーム

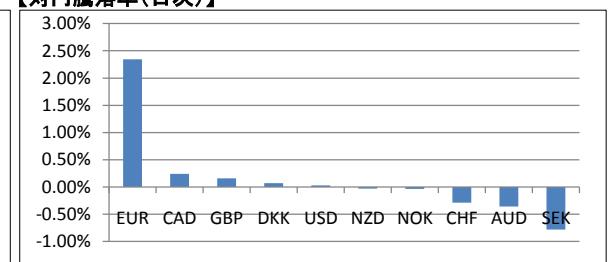
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月25日	08:01	英 GfK消費者信頼感	9月	-27 -27
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	8月	1.4% 11.4%
	22:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演		-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】 ECB後のユーロ

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.80-105.80	1.1630-1.1730	122.50-123.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は動意に欠ける展開。新たな取引材料に乏しい中で、105円台前半を中心とした値動きに終始。東京オーブンからニューヨーククローズまで105.53円を高値として、31銭の狭いレンジでの値動きに留まった。本日のドル/円も105円台前半での値動きを予想。株式市場の下落や欧州を中心とした新型コロナウイルスの再拡大等を背景としたリスクオフ試合は継続すると想定される中、昨日の値動きから105.50円近辺での売り圧力は依然強いと思われることから、上値の重い展開が想定される。また米国での追加経済対策の成立の遅れが、今後米経済の回復ペースの鈍化につながる可能性もあり、動向に要留意したい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	ブル ペア
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	6 15